

堺 アルフォンス・ミュシャ館

企画展「おいしいミュシャ 5感であじわうアール・ヌーヴォー」を開催します

堺 アルフォンス・ミュシャ館では、企画展「おいしいミュシャ 5感であじわうアール・ヌーヴォー」を開催します。

ミュシャが描いたシャンパンやビスケット、フランス料理をはじめとする「味覚」にまつわるポスター・メニュー・パッケージなどのデザインを一挙公開します。

さらに、観る者の感覚を呼び覚ます数々の絵を、香りや音楽など、感じてあじわう体験を交えながら、5つの感覚ごとに紹介します。19世紀末パリでミュシャが腕をふるった美の数々を“5感”を使って堪能できる、新しい形のミュシャ展です。



(本企画展のおすすめポイント)

①「味覚」にまつわるミュシャ作品がずらり！アール・ヌーヴォー風ダイニングの再現空間も登場。

シャンパンやビスケットをはじめ、ミュシャが風味によって描き分けた、ポスターやパッケージデザインが勢ぞろい。さらに、アール・ヌーヴォー風のテーブルコーディネートも登場。室内装飾画などとあわせて、当時のダイニングの雰囲気を感じいただけます。



②香り／音楽／触れる絵でイメージひろがる！ミュシャの絵を「5感」であじわう鑑賞体験が盛りだくさん。

本展のために開発したスペシャルフレグランスの香りや、ミュシャが描いた演劇ポスターの劇中音楽を聴きながらのポスター鑑賞、触れる絵「触図」で視覚に頼らない鑑賞などを体験していただけます。

※一部作品では、点字解説やスマートフォンによる無料音声ガイド付きでお楽しみいただけます。



「香り」体験イメージ

③「5大コレクション」をすべて出品！コレクションの「おいしい」ところをたっぷり。

当館にしかない3大油彩画・彫刻・宝飾品からなる5大コレクションをはじめ、貴重な鉛筆デッサンや代表的なポスター作品などが充実。ミュシャ館が初めての方も、当館コレクションの魅力をもっと存分に味わえます。



「クオ・ヴァディス」



「ウミロフ・ミラー」



「ハーモニー」



「ラ・ナチュール」



「蛇のプレスレットと指輪」

1 展覧会名

おいしいミュシャ 5 感であじわうアール・ヌーヴォー

2 会期

令和 5 年 4 月 8 日（土）～ 令和 5 年 7 月 30 日（日）

前期：令和 5 年 4 月 8 日（土）～ 令和 5 年 6 月 4 日（日）

後期：令和 5 年 6 月 8 日（木）～ 令和 5 年 7 月 30 日（日）

※前期と後期で展示室のテーブルコーディネートも装いを変えます。

3 出品予定数

約 100 点（期間中、前期と後期で一部作品の入れ替えがあります）

4 場所

堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）

（堺市堺区田出井町 1-2-200 ヘルマージュ堺式番館）最寄駅：JR 阪和線堺市駅

5 開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時 15 分（入館は午後 4 時 30 分まで）

6 休館日

月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日（7 月 18 日）、展示替臨時休館日（6 月 6 日・7 日）

※休日の翌日が土曜日、日曜日、休日の場合は開館します。

7 観覧料

一般 510 円（410 円）、高校・大学生 310 円（250 円）、小・中学生 100 円（80 円）

*（ ）は 20 人以上 100 人未満の団体料金。団体利用については事前にご連絡をお願いします。また、100 人以上の団体料金については別途堺 アルフォンス・ミュシャ館にお問い合わせください。

*小学生未満、堺市にお住まいの満 65 歳以上の方（確認できる書類が必要）、障害者手帳等をお持ちの方とその介助者は無料。

*その他提携割引制度あり

8 主催

公益財団法人堺市文化振興財団／堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）

9 後援

在堺チェコ共和国名誉領事館

10 協力

OGATA コレクション、一般社団法人日本テーブルデザイナー協会、株式会社コードミー、点字・触図工房 BJ、パティスリー レタンセル、レストラン レ・フレール、フェニーチェ堺

11 関連イベント

「5 感」に関連するワークショップや、学芸員によるスライドトーク、ギャラリーツアーを実施予定です。

イベントの内容や開催時期、申込方法などの詳細は、堺 アルフォンス・ミュシャ館ホームページをご覧ください。

ホームページは随時更新します。[\(https://muchasakai-bunshin.com/\)](https://muchasakai-bunshin.com/)

なお、ご来館の際には、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。



【アルフォンス・ミュシャについて】

19 世紀末のパリで一躍人気のポスター作家として才能を開花させたアルフォンス・ミュシャ（1860-1939）は、芸術様式アール・ヌーヴォーを代表する画家として広く知られています。

ミュシャのポスター作家としての成功は、稀代の女優サラ・ベルナル（1844-1923）との出会いにより、彼の名がパリ中に広まったことがきっかけです。

1900 年のパリ万国博覧会への出展を経て、後年には祖国チェコへの芸術的貢献を願い、大連作《スラヴ叙事詩》をはじめ、チェコの独立と平和を願った油彩画などを制作しました。

【堺市とミュシャの関連について】

堺 アルフォンス・ミュシャ館が所蔵するミュシャとその関連作家の作品約 500 点は株式会社ドイの創業者、土居君雄氏（1926-1990）が収集したものです。土居氏の没後に遺族によって堺市に寄贈されました。コレクションは、ミュシャのポスターや油彩画、素描や宝飾品など、世界有数を誇る体系的な作品で構成されています。

堺 アルフォンス・ミュシャ館では、ミュシャの初期から晩年期にまでわたる作品を展示し、様々なテーマでその創作活動を紹介しています。

また、堺で生まれ育った情熱の歌人・与謝野晶子は、明治浪漫主義の文芸誌『明星』で活躍しました。『明星』の誌面では、ミュシャは「ムッカ氏」という名前で紹介されており、ミュシャの作品を思わせる挿絵が日本人画家によって描かれています。ミュシャは堺市にとって大変縁のある画家と言えます。

問い合わせ先	（企画展について）
	担 当：公益財団法人堺市文化振興財団 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 電 話：072-222-7227 ファックス：072-222-6116
	（本市の文化振興について）
	担 当 課：文化観光局 文化部 文化課 電 話：072-228-7143 ファックス：072-228-8174